

SOUND SEVEN

コスパ最高のサウンドボックス

OWNER>> 櫻井サン
CALL>> アブローズ (applause) [03]3330-2355 <http://applause-audio.com>



■フォルクスワーゲン・ゴルフ7 TSI ハイライン・ブルーモーションテクノロジー

ホイール>> アバンガード M621 F:19 × 8.5 R:19 × 8.5 フィニッシュ: ブラッシュドドリキッドシルバー
タイヤ>> ミシュラン・パイロットスーパースポーツ F:235/35R19 R:235/35R19
サスペンション>> ビルシュタイン B16 車高調
エキゾースト>> スーパープリント・マフラー
エクステリア>> カスタムカーボンリップスポイラー
オーディオ>> カロッツェリア・ヘッドユニット DEH-P01/ フロントスピーカーアンプ DEH-P01 × 2/ フロントスピーカー TS-Z172PRS+TS-S062PRS/ サブウーハーアンプ GM-D7100/ サブウーハー TS-W2520



USのヨーロッパ仕上げだから、街の景色には全然溶け込まない。異質な感じ。だからこそおもしろい。



ホイールはアバンガードのフローフォミング・M621の19インチを履かせた。タイヤはミシュラン・パイロットスーパースポーツ、車高調はビルシュタインB16。

ドアパネルのスピーカーをアウターバッフルに入れて埋め込んでいる。音の出る角度が考えられてアウターバッフルが作られている。



トランク内のシステムは10数万円の予算で組まれているコスパ抜群のシステム。視覚的なクオリティもバッチリ。

後付け感がないように、オーバーヘッドコンソールにカロッツェリアのヘッドユニットを組み込む。

ツイーターとミッドレンジはこのスペースに。音が出る角度を調整している。



丸の内にある有名なホワイトタイガー。

VW GOLF VII TSI HILINE BLUEMOTION TECHNOLOGY

動画を見てみよう!

PHONE やスマホのQRコードリーダーアプリなどを使って、QRコードから動画サイトに直接アクセス



↑ FORGED PRESS Footage
【動画】はこのQRコードから

フォルクスワーゲンの1.4TSIブルーモーションテクノロジーって、排気音とか走行音とかとても静か。このゴルフVIIにしたって、スーパープリントの4本出しマフラーを新調しているのに、発進から低速域ではどうにも静か(いい音が出るのは5000rpm以上!)。ってことで、ゴルフVII TSIってやつは、オーディオを積むと余計な音に悩まされず、音楽を楽しめそう。

東京・アブローズがゴルフVIIに向けて作ったのは、安めの

コンポーネンツを使ってインストレーションの工夫でハイエンドに並ぶくらいの音質と見た目というシステム。「カロッツェリアのハイエンド入門機DEH-P01をヘッドユニットにして、オーバーヘッドコンソールのメカネケース部分に埋め込みました。スピーカーもアンダー10万円のハイエンド入門機を、ドアパネルに埋め込んでアウターバッフルを使って、いい音で聴こえる角度に設置しています。ラゲッジルーム内のサブウーハーとアンプ

は、それぞれ2万円台の品物です。こんな内容を、シンプルだけど高級感が出るように制作しましたので、これで十分ハイエンドシステムに迫るサウンドが楽しめますヨ」エクステリアでは、ホイールにアバンガードの新作M621の19インチをマウント。「USブランドで質感高いのに、1台ぶんで定価40万円で済むってことがこのホイールのポイントです。鍛造じゃないですけど、フローフォーミングなので軽い剛性は高く、ブラッシュド仕上げでリキッ

ドクリアもかかっているんで、US鍛造と並べても遜色ないかな」ホイールで節約したぶん、ミシュランのパイロットスーパースポーツタイヤを選んで、車高調をビルシュタインB16に交換してバランスを取る。オーナーの櫻井サンはアラサー。こんな仕上げで、新宿や渋谷などの繁華街、丸の内みちなオシャレエリアにも乗り付ける。こういうアラサーのライフスタイルに合った作りに、いいネ! べ たっ。

VOLKSWAGEN SIDE